

# 障害や高齢のことを 「自分ごと」として デザインできるために

## くらしのデザイン交流会

ITが専門の大学と国の障害者施設がコラボした社会連携活動

日時： 2023年6月23日（金）14:00～16:00

場所： 亀田交流プラザ 大会議室1（定員：30名）

テーマごとの発表や体験会を通し、それぞれが気づいている社会の課題を共有しながら、この活動のこれらを皆で語ります。

助言者：函館市地域交流まちづくりセンター センター長 丸藤 競 氏

- 障害を自分ごととして考える 伊藤 精英
  - デザインの力／表現はわかること 岡本 誠 渡邊 麗恵 館田 美保
  - くらしを意識した大学生の取り組み 三上 貞芳
  - みえづらい人の見え方体験 川嶋 稔夫
- まとめ：アクセシビリティの未来 須永 剛司 刑部 育子

### [活動の紹介]

函館にあるIT専門の大学と障害者支援を行っている国の施設が連携し、ユニークな活動を始めました。わたしたちの最初の活動は、畑づくり（共創）でした。その後も、共創活動を礎に、見えづらい人のための電子リーダーの開発等アクセシビリティの研究、高齢の人、聞こえづらい人のための生活支援技術への取り組みなど、2年間にわたり、一步一步前進させてきました。

今回、これまでの活動が、社会で起こっている多様な課題に向けた取り組みとなるよう「自分ごととして考える」場をみなさまと共につくりたいと思います。



くらしのデザイン

国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局函館視力障害センター  
自立支援推進委員会地域連携分科会  
公立はこだて未来大学くらしのデザインラボ  
連絡先：kouhou-hkdt@mhlw.go.jp  
※お問い合わせはメールで受け付けています